

福祉体験！

11月30日（水）、四万十町社会福祉協議会の皆さんに來校いただき、全校児童で福祉体験を行いました。

子どもたちは、見えづらくするための眼鏡や動きを制限するための物を体や腕、手に装着しました。それらの装備を付けたままで新聞を読んだりお箸で豆をつまんだり等、いろいろな体験をしました。

子どもたちからは、体験の振り返りでは、見えづらさや動きづらさ等、困り感を感じている方々がいることを改めて意識することができたこと、困っていることを考えて行動していく大切さに気付くことができたこと等の内容の発言を聞くことができました。

私たちは、これから先、高齢化や事故・病気等で身体の動きに困難さを感じるようになる場合が考えられます。家族や地域の人々みんなが少しでも生きづらさを感じることがない社会になるよう、私たち一人一人がそれぞれの状況の下、できることから行動していけたらいいですね。

☆☆体験の様子☆☆



耳栓をして、おもりの入った上着とひじカバー、手袋をつけました！



お箸でつかむの難しい！



ふたが なかなかあかないよ！



買い物をして値段シールを
見ます！



お金が出しにくいね！



炎が見えるかな？



小さい字は見えないなあ！



字が書きにくいなあ！

四万十町社会福祉協議会の皆様、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。